

第74回(2019年)国連総会本会議における北朝鮮人権状況決議の採択

- 2019年12月18日(現地時間)、第74回国連総会本会議(於:ニューヨーク)において、EUが提出し我が国が共同提案国に名を連ねた北朝鮮人権状況決議がコンセンサスで採択された。
(本年で15年連続15回目の採択。)
- 本決議の共同提案国数は61か国。

本決議における拉致関連パラ(仮訳)

国際的な拉致問題及び全ての拉致被害者の即時帰国の緊急性及び重要性、拉致被害者及び家族が長きにわたり被り続ける多大な苦しみ、並びに、特に2014年5月の日朝政府間協議に基づき北朝鮮が全ての日本人に関する調査を開始して以降、北朝鮮が前向きな行動をとっていないことに対し深刻な懸念をもって留意する。北朝鮮に対し、全ての強制失踪の申立てに対処し、拉致被害者の家族に対して、拉致被害者の安否及び所在に関する正確な情報を提供し、全ての拉致被害者に関する全ての問題の解決、特に日本人及び韓国人拉致被害者の帰国を早期に実現するよう要求する。